

小竹だより

練馬区立小竹小学校 校長 瀧嶋 克己

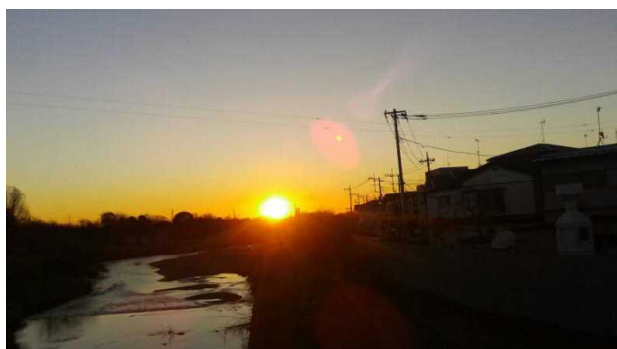


平成28年 1月号

No. 491

「和」の心にふれる

校長 瀧嶋 克己



【初日の出】

新年あけましておめでとうございます。今年は年末年始、春のような暖かな日が続きました。

ご家族そろってよい年の初めをお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年は、日本を訪れた外国人旅行者が平成27年12月19日時点で年間1900万人を超えたという新聞報道を目にしました。平成25年に初めて1000万人を突破し、平成26年は1341万人というのでここ数年で外国人旅行者が増えているのがよく分かります。訪日の目的は、1位「日本食を食べる」2位「ショッピング」・・・8位「日本の歴史・伝統文化体験」とありました。

「cool japan」という言葉もよく耳にするようになりました。日本の文化が外国の人たちに格好いいものとして受け入れられているようです。

年末年始は、「和」を意識できるよい機会であると思い、冬休み前の児童朝会で「昔から伝わる行事や風習に触れてみましょう」という話をしました。いかがでしたでしょうか。

1年生は、9日（土）の授業公開で「昔あそび」と称して「羽子板」「こま回し」「お手玉」などを行います。羽子板やこま回しなどの遊びは、ボール遊びやテレビゲームなどに変わり、町中で見かけることはほとんどなくなりました。教えることができる人も少なくなってきました。1月は睦月（むつき）、仲良く睦み合うときだそうです。ぜひ、ご参加ください。

また、冬休みの課題として各学年「習字」を出しました。1・2年生は、硬筆。3年生から6年生は毛筆です。毛筆については、書き初め用の大きな紙に書くので、「中心をそろえる」「字と字のバランスを考える」等、普段書く半紙よりも練習が必要になります。課題に向け、新聞紙などに何度も何度も練習し、課題に取り組んでいたのではないのでしょうか。自分と向き合い、納得できる字が書けるまでには相当な時間がかかります。

今日から学校が再開し、各学年各学級で書き初めを行っていきます。1月18日（月）～2月13日（土）まで校内書き初め展を行います。教室前に力作を掲示いたします。ぜひ、お越しく下さい。今年度の書き初め（毛筆）の文字は以下のとおりです。

- ・3年「美しい心」・4年「流れる星」
- ・5年「進む勇氣」・6年「新たな決意」